

地域おこし協力隊



「道志ビクルス」もようやく完成したので、お客様



様の反応を生で知るために、山梨や神奈川などで行っているイベントへ参加しています。

イベントでは直接お客様と会話をしながら販売すると色々な発見があります。味の感想や意外な食べ方も教えてくれ、本当に貴重な意見をたくさんいただいています。こういったイベントを通じて道志村を知ってもらえるきっかけ作りが続けていければと思います。(井口陽介)

道志村地域おこし協力隊とは

2013年度から、5名の隊員が活動。3年間村で地域おこしの活動に携わり、任期後に向けた仕事おこしをしていきます。

協力隊活動報告会が終了しました



7月10日(木)、お陰さまで無事に報告会が終了しました。村長を始め、村議会議員の方々、村民の皆さんを含め、総勢29名にお越し頂きました。当日は台風による強風と豪雨の中、平日にも関わらず会場までお越し頂き、誠にありがとうございました。

協力隊各自が、初めて自分たちの活動を直接皆さんにお話をする、貴重な機会となりました。質疑応答では、「みんな細かいけどちゃんと食べているのか」と温かいお気遣いも頂き、大変嬉しかったです。

協力隊の任期は、残すところ、あと1年半となります。道志村における自立のため、頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。(大野航輔)

川原畑の夏祭りにおじゃましました！



7月19日〜21日に川原畑の夏祭りにおじゃましてきました！いよいよ夏の到来を感じさせるような刺激的な3日間でした！

19日の御祇園祭にはじまり、2日間の村舞いまで、川原畑のみなさんにはとてもお世話になりました。ありがとうございました。

川原畑のお祭りを通して、地区のつながりの強さとお祭りへの強い想いを感じました。

「お祭りをなくすのは簡単、だけど復活させるのはすごく大変」そんな言葉を聞きました。時代ともに人員など様々な事柄が変わったといいます。それでも何年も何年も受け継がれてきたお祭りを大切に、みなさんが忙しい中で協力して今年も盛大にお祭りをする。ヨソからの私の目には、それがとても素敵で、胸が熱くなるようでした。

きっと「ふるさと」はこのようにお祭りですくりあげられるのだと思います。(中島拓哉)

無農薬・無化学肥料で穀物と野菜を育てています。



畑をやっていることで村の方々や畑談議に花が咲くこともあり、農作業は楽しいですが、質と量で思うように上手くできません。作物を育てることは結果が全てである点で、サラリーマンの仕事より厳しいと感じています。

もつと畑や田んぼで観察しながら勉強し、「結果が全てだからこそおもしろい」と感じる事ができればと思います。(千々輪岳史)

4月から毎週道志で受け入れていた都留文科大学の授業が終了しました。



学生による報告会が大学であり、行ってきました。

報告では、薪以外の間伐材の利用や「水の自給自足」と名付けた横浜市民向け林業体験プランなど、村の林業を盛り上げていくための提案がありました。8月には学生有志による道志でのBBQなど予定しています。授業をきっかけに、道志へ関心を持つ学生が一人でも増えてくれればうれしいです。(香西恵)